

いざというときの応急手当て

出血がひどい場合

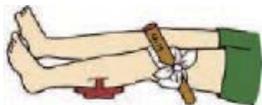
1 傷口を圧迫（圧迫止血）

清潔なガーゼやハンカチを、重ねたりして傷口にあて、その上を手で押さえ圧迫します。傷口を心臓の位置より高くすると、より止血効果があります。

2 止血帯を巻く

●血が止まらなかったり、患部に骨折があるなど圧迫できないときは、止血帯を巻きます。巻き方は、傷口より心臓に近い部分をタオルなどの幅広い布で固く縛りましょう。

●止血帯を巻いたときは、巻いた時間がわかるようにしておきましょう。また、止血帯を巻いたまま、1時間以上おかず、15分くらいの間隔でゆるめ、手足の組織の壊死（えし）を防ぎましょう。



骨折の疑いがある場合

1 動かないようにし、傷や出血の手当て

骨折の見分け方

- ケガをしている部分が不自然に変形している。
- 激しい痛みがある。
- 腫れや皮下出血（内出血）がある。

2 患部の固定の方法

患部を固定する際は、添え木を当て、骨折した上下の関節を固定し、骨折したところがずれないようにしましょう。添え木がない場合は、傘や杖などを代用することもできます。



やけどの場合

すばやく水で冷やす

●手足の冷やし方

傷口に流水が直接当たり刺激が強すぎる場合、流した状態の水道水の下に洗面器などを置き、そこに手足をつけて冷やしましょう。



●衣服を着ているときの冷やし方

最初は衣服を着たままの状態で冷やし、その後、水をかけながらゆっくりと衣服を脱がしましょう。皮膚が衣服に癒着している場合は、無理にはがさないようにしましょう。



AED（自動体外式除細動器）

AED（自動体外式除細動器）とは

心臓の心室が小刻みに震え、正常なリズムを失い全身に血液を送ることができなくなる状態（心室細動）を、心臓に電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻すための器械です。

救助者は、傷病者の胸に電極パッドを貼り付け、音声指示に従って器械を取り扱うだけでよく（器械が除細動の指示を出したときだけのみ除細ボタンを押す）、短時間の講習により一般の方でも簡単に扱うことができます。

心室細動を取り除く「除細動」は、一刻も早く行わないと、効果が落ちてしまいます。

一般には、心室細動が起こってから、1分が経過する度に、7～10%ずつ救命率が下がってしまいます。

市内の設置場所については、公共施設・市立小中学校・保育所（園）等へ設置しています。

詳しくはAED設置場所検索でご確認下さい。

URL:<http://www.city.kinokawa.lg.jp/kikikanri/aed.html>

